

利用上の注意

1. 民間データを用いた総消費動向指数の推定精度向上に関する取組（試算値）について

本取組は、報告書*に続く令和4年以降の各月について、報告書と同様の推定方法により試算を行った結果を取りまとめたものになります。なお、推定方法等は研究段階であるため、あくまで試算結果として御覧いただくようお願いします。

※ 報告書：民間企業が保有する消費関連データの消費動向指数（CTI）への利活用について
～民間データを用いた総消費動向指数の改善に関する調査研究～（令和4年12月28日）

2. 推定方法及び民間データの利用方法

総消費動向指数の月次結果の推定時に当該月の結果が公表されていない、第3次産業活動指数の「広義対個人サービス」及びサービス産業動向調査結果の「サービス産業計」について、民間企業から提供を受けたクレジットカード情報などを活用して当該月の結果を予測推定しています。この予測推定結果を用いて月次の消費支出総額を推定し、総消費動向指数を算出しています。

詳細は、「[推定方法及び民間データの利用方法](#)」を御覧ください。

3. 試算結果

各月の試算結果を御覧になる際は、以下の点に御留意願います。

- ・ 試算結果ファイルには計12回の算出結果を掲載しています。表頭の数値（yyyymm）は試算に用いたデータに含まれる最新月（yyyy年mm月）を、表側は推定対象の年月を表しています。
- ・ 本試算では、総消費動向指数と同様、試算ごとに過去に遡って改定されています。各月の改定幅等については「[付録1](#)」及び「[付録2](#)」を御覧ください。

4. 今後の予定

現状では、今後も報告書と同様の推定方法により試算を行う予定ですが、推定方法等は研究段階であるため、今般の試算結果も踏まえつつ、改善を図っていく予定です。また、総消費動向指数の推定方法の検討・改善の状況に合わせて、本取組の位置付け等も含めて引き続き見直しを図っていく予定です。